



図書館だより

No.20

●ビタウ先生と上智大学図書館

上智大学長 早下 隆士

●教えて! ソフィアンくん

～第3回 ソフィアンくんと巡る図書館ツアー～

●図書館ツアーのご案内

●リザーブブックを知っていますか?

●図書選定委員お薦めの本 総合人間科学部 看護学科 小高 東実
准教授

●豆知識 「新書」について



ビタウ先生と上智大学図書館

上智大学長 早下 隆士



西洋と東洋の架け橋となる大学として、1913年に上智大学は開学した。16世紀に来日したイエス会修道士の聖フランシスコ・ザビエルが抱いた、「ミヤコに大学を」という宿願が360年余りを経て結実したのである。当初、哲学科・ドイツ文学科・商科の3学科、学生数はわずか15名で授業がスタートした。1948年には「新制大学」としての認可を受け、新たなスタートをきった。当時の学生数は1,000名足らずであったが、1957年には初めて女子学生を編入により受け入れて男女共学となり、1958年に神学部、1962年に理工学部を開設し、文字通りの総合大学となった。現在は、2014年度に開設した総合グローバル学部も含め、9学部29学科10研究科を擁する、学生数13,000名を超える大学へと発展した。

本学の歴史の中で図書館は、開学と同時に設置されているが、新制大学認可後の1952年、現在の2号館がある場所に真田堀に面して図書館・大学院校舎(旧L号館)が建設された。当時は学生が自由に書庫の中に入ることができず、読みたい本を図書館職員に出庫してもらうというシステムであったそうだ。

学生数も10,000名近くに増加してきた1970年代半ばになると、新図書館の必要性が叫ばれ、1977年に新図書館建設事業計画が発表された。当時学長であったヨゼフ・ビタウ先生は、人文・社会系図書はもとより、理工系図書も所蔵する予定の中央図書館を、「上智大学全体の研究センター、大学の心臓にしたい」と話されている。その後、ビタウ先生は教皇代理補佐として日本を後にするが、その理念を受け継

いで、1983年12月に現在の図書館は総合研究棟として完成した。竣工式にお迎えしたケルン大司教区のヨゼフ・ヘフナー枢機卿は挨拶の中で、新しい図書館を「連續性の象徴、普遍性の象徴、現代性の象徴」と表現している。

当時3,000弱の閲覧席を有した新図書館(現在の中央図書館)は本学の教育にかかわるキリスト教関連資料を始めとして、人文科学・社会科学・自然科学の各種資料を40万冊所蔵し、1984年4月に開館した。

当時では珍しい「オープン・フロア型(図書が開架書庫に置かれ自由に手にとって選ぶことができる)」の図書館となり、併せて総合研究棟としての機能強化のために、大学院研究室、各種研究所が図書館と融合し、西洋と東洋をつなぐ智の拠点となることが期待された。

現在までに、各分野の蔵書を充実させ、蔵書数は110万冊までに増加した。インターネット技術の発展に伴い情報の電子化が急速に進む中で、世界の歴史、遺産、教育研究情報を集積管理する図書館の重要性は益々高まっている。

中央図書館の生みの親ともいえるビタウ先生は、その後ローマにおいて、イエス会総長顧問、教皇庁立グレゴリアン大学学長、教皇庁立科学アカデミー・社会科学アカデミー事務総長等を務められ、1998年には大司教に叙階された。2004年に日本に戻ってこられ、その後も本学での講演活動のほか、ソフィア会の献身的な協力もあり多くの著書や新聞コラムへ勢力的に執筆もされていたが、上智大学の100年の歴史を見届けるように昨年12月にご帰天された。

ビタウ先生の理念の下に、中央図書館は本学全体の智の拠点、研究センターとして機能する心臓となり日々脈打っている。図書館機能の更なる充実を心から期待し、中央図書館が上智大学の真の心臓部であり続ける事を願ってやまない。

教えて! Q&A ソフィアンくん



～第3回 ソフィアンくんと巡る図書館ツアー～

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！僕は上智大学公認キャラクターのソフィアンです！大学の中にはいろんな建物があって、最初のうちは戸惑うことが多いと思います。図書館にも、まだ入ったことがない人もいるんじゃないのかな？図書館は皆さんのが大学生活を送るうえで、欠かせない場所。今回は、僕が皆さんを案内するよ！

上智大学にある図書館

上智大学には、四谷キャンパス内に中央図書館及び2号館2階の法科大学院図書室、目白聖母キャンパス内に目白聖母キャンパス図書室、石神井キャンパス内に石神井分館などの図書館があります。ここでは中央図書館をご案内します！

⑤自動貸出機

貸出手続きを自分で。学生証を自動貸出機に入れ、図書についているバーコードを読み取らせましょう。



④OPAC端末

OPACと呼ばれる、上智大学図書館の蔵書検索ができる端末が、各フロアにあります。インターネット等にはアクセスできません。



⑦館外貸出資料返却口

返却本は裏側の箱の中に。



裏側は
こんな感じ。



⑥貸出カウンター

リサーブブックや集密書庫にある資料の申込みはこちらに。



次は⑧へ

1F



③入館ゲート

入館ゲートに学生証を読み取らせて、いよいよ図書館へ！



②返却口

入口左側には返却ボックスがあります。図書館に入らなくても、借りていた本を返却することができます。

図書館に入る
その前に！





⑧は
ここだよ!



⑧ AVコーナー

個人ブースの他に、友達と一緒に利用できるソファスペースもあります。利用したい資料を持って、貸出カウンターで手続きしましょう。持ち込みのDVDは見られません。



⑨ レファレンス資料

辞書や年鑑などのレファレンス資料と呼ばれる資料が配架されているコーナー(ただし、理工系は除く)。貸出はできないので、館内で利用してください。

④ レファレンスカウンター

データベースの使い方など、資料探しの相談はこちらへ。



⑩ コピー室

コピー機も各フロアにあります。コピーカード(1000円)を買おうと、120円分お得です。



⑫ 新聞コーナー

国内新聞約30紙、海外新聞約60紙を閲覧することができます。ここには数ヶ月前までに発行された新聞があります。



① エントランス

正面向かって左側が入口、右側が出口の一方通行になっています。図書館に入る前に、入口左側に注目！



新聞フォルダ

当日の新聞(海外の新聞については直近のもの)は、ここで閲覧できます。



2階は理工系資料のフロア。
PCルームもあるから、たくさん利用してね！



2F



④ 新着雑誌コーナー



② 研究書(和書)
③ 研究書(洋書)



⑤ 雑誌バックナンバー書庫

人文・社会系は2階にあります。



⑥ PCルーム L1・L2

L1は72台、L2は32台のパソコンがあります。文献検索などの講習会も開かれます。

レファレンス資料や研究書、雑誌は最新号からバックナンバーまで、ほとんどの理工系資料は2階にあるよ！
(ただし、学部学生用図書は地下2階)



① レファレンス資料



⑥ 閲覧席

図書館の中には、1900席以上の閲覧・学習スペースがあります。お気に入りの場所を見つけて、勉強に取り組むのもいいですね。

最後は
地下1階だよ

B1F



⑤ ラーニング・コモンズ

可動式の机と椅子が80席ある、多目的学習スペースです。貸出PCやホワイトボードも利用でき、プレゼンテーションの準備などに最適です。

学習支援席では、スタッフがレポート作成などの学習相談に応じています。



① 学部学生用図書

地下1階、地下2階には、学部の1、2年生が読んでわかりやすい、入門書レベルの本があります。

② グループ学習室

10人ほどのグループで使用できる部屋が3つあります。この春リニューアルし、使い勝手がよくなりました。(写真は2015.1月現在)



④ 学生ラウンジ

勉強の合間に息抜きをしたいとき、友達と話しながら作業を進めたいときには、このスペースを利用しましょう。



③ ロッカー

荷物が多いときには、ロッカーを使用することができます。鍵は貸出カウンターで借りてください。



図書館ツアーのご案内



図書館では、以下の日程で図書館ツアーを行います。今回ソフィアンくんが紹介してくれた場所などをスタッフと一緒に周ります。このツアーに参加すると、図書館の使い方がわかるようになりますので、ぜひご参加ください。参加者には、記念品をプレゼントします。

実施日程・時間

所要時間は各回30分程度で、同内容です（予約不要）。

実施内容

中央図書館の主要な箇所を約10名ずつのグループに分かれて見学します。

集合場所

各ツアー開始時間の5分前までに、中央図書館1階正面右側のレファレンスカウンター前にお越しください。

実施日	出発時間		
4月7日(火)	10:00	11:00	13:00
4月8日(水)	10:00	11:00	13:00

リザーブブックを知っていますか？



Q. リザーブブックって何ですか？

A. リザーブブックは、教科書以外に授業で必要な図書を教員が指定し、通常より短い貸出時間で受講生が公平に読めるようにする制度です。

Q. 短い時間とはどのくらいなのでしょうか？

A. リザーブブックには2時間、24時間、72時間の貸出時間が予め指定されています。

Q. どうやって借りればよいですか？

A. OPACの「教員指定図書検索」に先生の名前のリストがあり、名前をクリックすると詳細が見られるようになっています。貸出カウンターで「○先生の○番の図書を貸してください。」と言えば、職員が出納します。

図書選定委員お薦めの本

総合人間科学部 看護学科 准教授 小高 恵実

この上智大学に、看護学科ができて早4年になる。3月には初めての卒業生を送り出した。私は文学系の強いこの上智の地に、看護学科が設置されたことに対しては、何らかの必然性を感じている。

クリスチャンの家庭に育った私は、小さい頃から、日本で唯一の神学部を持つ本学に、畏怖にも似た憧れを抱いていた。高校生の頃、フランス語の道に進みたかった私は、上智のフランス語学科に進学するつもりでいた。しかし親の反対があり、看護の道に進むことになった。上智は医療系の学科が無い大学だったので、自分がこの地から益々遠ざかって行く感覚すら覚えていた。あの時、まさか30年後の自分がこの地に立っているなんてことは、想像だにしなかった。



そして何故か30年の時を経て、私は今、ここにいる。

「看護は実践の科学」であり、教育も、研究も、政策も、実践に還元されなければ看護とは言えない。

私の専門は「精神看護学」であるが、実践も研究も教育も、自分の全身全霊を「精神科看護」につぎ込んできた。「精神科看護」は、精神疾患を持つ人とその家族に対する看護を専門とする領域である。

皆さんは「精神疾患」、「精神障害者」と聞いて、どんなイメージを思い浮かべるだろうか。「怖い」とか「大声を出す」とか「暴れる」とかだろうか。それとも「想像つかない」感じだろうか。私は、7年間の精神科病棟での臨床経験の中で、様々な患者さんに出会ってきた。多くの患者さんと関わる中で、何を学んだかと言えば「一番苦しんでいるのは、患者自身である」ということである。

ここに2冊の本を紹介したい。どちらも、精神疾患を持つ患者の手記であり、ノンフィクションである。この2冊の本の中には、精神疾患を抱えた患者さんの苦悩が満ち溢れている。

『口りの静かな部屋』(早川書房)

» 学部地下2階 936: Sc35
聖母図書室 936: Sc35

難治性と思われた統合失調症を抱える口りが、何年もの入退院を経て回復していくプロセスが、赤裸々に描かれている。臨床で出会った患者さんが、症状が悪化してゆく際に経験した体験を語ってくれたことがあったが、この著者の口りも全く同じ表現をしている箇所があり、統合失調症悪化時には、多かれ少なかれ同様の体験をするのだということが分かる1冊である。

『24人のビリーミリガン』(早川書房)

» 学部地下2階 933: Ke-G78n: v.1-2
聖母図書室 933: Ke-G78n: v.1-2

一世を風靡した解離性同一性障害（多重人格）の映像の無いドキュメンタリーである。自分が自分であることすら記憶がなく、自分で自分をコントロールできない苦悩が如実に現れている1冊である。



もしあの時、親の反対を押し切って私がフランス語の道に進んでいたらば、今頃は丘の上のアパルトマンで、モンマルトルの風に吹かれながらカフェオレを飲んで暮らしていただろう。

しかし今、この30年の経験を経て私がこの地に立つ意味は、若者たちに「精神看護学」の何たるかを伝承するためなのである。



豆知識

「新書」について

新書は出版形式の一つで、B6判よりやや小型の判型（新書判）のシリーズをいいます。新書という名称は、1936年に岩波書店が創刊した「岩波新書」に由来します。創刊当時、世界的に流行していたペリカン・ブックスの判型を参考したといわれています。「岩波新書」は書下ろしを中心として、「現代人の歴史的教養」を追求する、いわゆる教養書としての性格を備え、分量も手ごろで廉価なこともあって、学生、知識人を中心に安定した読者を獲得しました。

上智大学図書館でも数多くの新書を所蔵しています。色々なテーマについて概説が読みやすく書かれているので入門書として有用です。手軽に持ち歩くことができますので通学時間に新書はいかがでしょう。

中央図書館では新書は主に地下1階中央の木製の書架に配架されています。

正典・世界大百科事典 第2版世界の読み物冊子 ISBN 0-311-92222-2005 v.35

叢書が世界をつなぐ



上智大学

SOPHIA UNIVERSITY

上智大学図書館だより No. 20

発行所 上智大学図書館

〒102-8554

東京都千代田区紀尾井町7-1

TEL : 03-3238-3510

FAX : 03-3238-3139

発行日 2015年4月1日

印 刷 三輪印刷株式会社

TEL : 03-5276-0811